

# 秩父別町総合計画



## ごあいさつ

秩父別町の将来は、住民一人ひとりが力を合わせて、理想農村の建設を進めるための熱気あふれる創意工夫と努力によって推進されるものと考えます。

自然との調和の中で、農業に生きる町として、限らない発展を目指し、「第6次秩父別町総合計画」の策定に取り組んでまいりました。

総合計画の策定にあたっては、町民アンケート調査により寄せられた貴重な意見や提言を基に、策定委員会とプロジェクトチームを構成し、町民憲章の具現化にむけて、基本的な指針となる基本構想、また基本構想が描く将来像、目標及び施策の大綱を実現するための基本計画を策定いたしました。

国の情勢の変化と、人口の減少、少子高齢化、高度情報化、国際化などの進行により、本町を取り巻く環境は大変厳しい状況となっています。

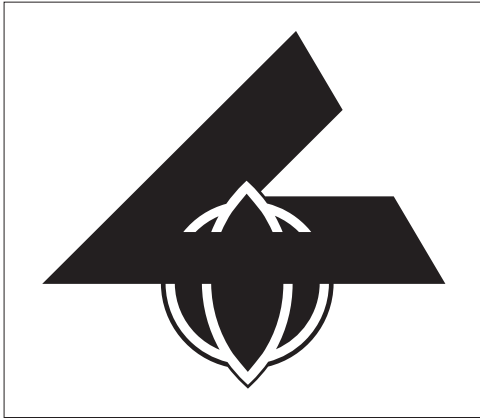
今後も予想される様々な環境の変化に対応し、自立した地域を確立するためにも、平成19年7月に施行した「秩父別町自治基本条例」の下、町民、町議会、行政がそれぞれの役割と責任を果たしながら福祉の充実を図り、「住んで良かった」、「住んでいて良かった」と思える環境整備を進めていかなければなりません。

今後とも町民の皆さまの一層のご理解とご協力をいただき、「協働の力で築く、安全安心で活気に満ちたまち」の実現に取り組んでまいります。

最後に、本計画策定に当たってご尽力いただきました町民の皆さま並びに関係機関、団体に対しまして、心から感謝申し上げます。

秩父別町長 神 薮 武

# 町章



秩父別町章は、昭和28年に設定された紋章の朶を十字に配し、米作地秩父別を表わしていたものを現代的に表現したもので、きびしい風雪に耐えながら千古不斧の大密林を開拓された先人の屯田魂と理想に向って雄々しく伸びる秩父別の未来を表徴したものである。

三角形は秩父別の地形を象どり、町民の安定と飛躍的發展を表わし、朶は屯田魂と郷土愛を意味し、全体の形を秩父別の「チ」としたものです。

旗の地色は白とし町民の清純を、青（紺）は、不屈の精神と安定、黄（きだいだい）は、郷土愛と發展を表徴するものです。

（昭和43年制定）

## 町名の由来

秩父別の名は、アイヌ語の「チックシベツ」に由来し、「通路のある川」を意味しています。



### 町の花（バラ）

情熱的で美しく気品に満ち、心にやすらぎを与え、町民の郷土愛と町の飛躍を象徴します。

（平成16年3月15日制定）



### 町の木（桜）

力強く大地に根を張り、可憐な花は人々の心を和ませ、穏やかで希望に満ちた未来を象徴します。

（平成16年3月15日制定）



### 町の花木（つつじ）

強健で明るく美しく、広く愛され、本町の逞しく限らない躍進を象徴します。

（昭和49年5月18日制定）

# “協働の力で築く、安全安心で

秩父別町が目指す「協働の力で築く、安全安心で活気に満ちたまち」の創出に向け、5つのまちづくり分野ごとに主な施策を立てています。

## 1 活力ある田園のまちづくり

- ◇ 農林業の振興
- ◇ 商業の振興
- ◇ 工業の振興と地場産業の創造・育成
- ◇ 観光の振興

## 2 心かよいあう福祉のまちづくり

- ◇ 社会福祉の充実〔高齢者・児童・障がい者福祉〕
- ◇ 保健・医療・介護の連携体制整備

## 3 安全で安心して暮らせるまちづくり

- ◇ 安全で利便性を高める道路整備〔道路網の整備、運輸・通信の確保、雪対策〕
- ◇ 生活環境の整備〔住宅、上下水道、衛生・環境、公園・緑地・緑化〕
- ◇ 安全な環境づくり〔防災・防犯と消防、交通安全〕

# “活気に満ちたまち”の創出のために!!

## 4

### 豊かな心を育む生涯学習のまちづくり

- ◇ 生涯学習の推進
- ◇ 学校教育の充実
- ◇ 社会教育・社会体育の充実
- ◇ 郷土文化の創造と継承

## 5

### 輝く未来へ活力あるまちづくり

- ◇ 地域を支える人材の育成
- ◇ 広域的交流の推進〔都市交流型農村の構築、地域間交流・国際交流、コミュニティ活動〕
- ◇ 効果的・効率的な行財政の運営〔行政、財政・行財政改革、広域行政〕